

令和2年度

# 横浜市中学校バドミントン秋季団体戦

兼 神奈川県中学生選抜ジュニア強化バドミントン大会横浜市予選会  
(共催大会団体の部)

令和2年10月11日(日) 会場:横浜武道館

主催 横浜市バドミントン協会・横浜市中学校体育連盟

主管 横浜市中学校体育連盟競技部バドミントン専門部

## 横浜市中学校バドミントン秋季団体戦

### 兼 神奈川県中学生選抜ジュニア強化バドミントン大会（共催大会団体の部）要項

1. 目的 ①神奈川県中学生選抜ジュニア強化バドミントン大会の参加校の選出。  
②夏休みを中心とした、1・2年生の練習の成果を試す場とする。
2. 主催 横浜市バドミントン協会・横浜市中学校体育連盟
3. 主管 横浜市中学校体育連盟 バドミントン競技専門部
4. 日時 令和2年 10月11日（日） 男女団体戦  
場所 会場 横浜武道館  
開場時間 9：30 保土ヶ谷・泉・瀬谷・旭・港北・緑・青葉・都筑区  
9：45 鶴見・神奈川・西・中・南・港南・磯子・金沢・戸塚・栄区  
10月17日（土） 女子予備日  
会場 十日市場中学校  
10月18日（日） 男子予備日  
会場 鶴見中学校  
予備日の日程は別途通知
5. 参加校 各区ブロック1位の学校  
※必ず協会登録をしている選手
6. 使用球 水鳥球（2種検定合格球4番）  
※各区で行われる予選においては、各区の判断で使用するシャトルを決定する。
7. 参加費 1チーム 3500円
8. 競技形式 ①トーナメント方式で行う  
②1複・単・2複の団体戦形式とし、単複を兼ねることはできない。  
③現行（公財）日本バドミントン協会競技規則に準じて競技を行う。  
④2試合先取打ち切りで試合を行う。  
⑤試合は原則互い審で行う。  
⑥15点マッチ2セット先取延長ゲーム無しで行う。
9. 参加校 各区ブロック予選優勝校18チーム
10. ブロック予選
  - ・9月5日～27日の間に各区でブロック予選を行う。
  - ・各区で行うブロック予選の対戦形式においては、その内容を各区の専門員に一任する。ただし、選手の負担を考え試合数が多くならないようにする。
  - ・ブロック予選終了後、各区専門委員は速やかに洋光台第一中学校 角田に報告を行う。
11. 参加申し込み
  - ・参加を希望する学校は協会登録をすませる。
  - ・9月18日（金）17時必着にて洋光台第一中学校 角田に送付し各区専門委員にコピーを送付する。
  - ・昨年度市大会に参加した生徒は申込用紙に記しをつける

## 1 2 . 協会登録に関して

- ・協会登録は、日本バドミントン協会の示す手順に従って登録をするだけでなく、市の協会登録担当(若葉台中新路)に一覧をメールで送るまでとする。  
※ 手順については総会の冊子を参照。
- ・協会登録の期限は、9月18日(金)までとする。  
※ 9月18日(金)より前に大会を行う場合には、大会当日までに必ず協会登録を行う。
- ・各区の協会登録の確認方法  
協会担当(若葉台中新路)に送ったメールに添付した、生徒の一覧を区大会当日に持参し、顧問打ち合わせで確認を行う。  
※協会登録をしていない生徒が試合に参加することがないように十分確認を行う。
- ・申込み書と登録一覧表を照らし合わせて、登録をしていない生徒がいる場合には、その学校を棄権とする。  
※新型コロナウイルスの感染が原因である場合に限り、メンバーの補充、変更を認める。ただし、大会当日までに協会登録が行われていることが条件である。

## 1 3 . 新型コロナウイルス感染症対策

- ・各区で行う予選及び本戦は、『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン部の活動ガイドラインversion2』に基づいた感染症対策を行い実施する。  
※特に試合、応援時に大声を発しないこと。
- ・大会当日健康観察表を持参しない場合、大会に出場することはできない。
- ・各校の引率生徒は原則8名とする。
- ・各校の顧問は参加生徒の保護者に参加承認書を配布する。
- ・各校の顧問は保護者から提出された参加承諾書をもとに参加者名簿作成する。
- ・大会運営責任者は提出された名簿を1か月間保管し、その後必ず処分する。
- ・予選、本戦を通じて、すべて無観客で行う。
- ・大会当日に健康観察表を持参していない生徒の出場は認めない。

## 1 4 . その他

- ・男女とも上位校(校数未定)は神奈川県中学生選抜ジュニア強化大会への参加資格を得る。
- 大会の開催を中止する場合
- ・緊急事態宣言が出されて、その対象地域となった場合
  - ・横浜市教育委員会から開催中止の指示をされた時
  - ・横浜市中学校体育連盟バドミントン専門部が開催できないと判断した場合
  - ・台風などの特別警報が発令された場合や計画運休が発表された場合
- ※大会の中止は専門部ホームページにてお知らせします。

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

- ・大会出場校の削減 32→18 →会場の密を避ける。試合数の削減
- ・2 試合先取打ち切りで試合を行う。→試合時間の短縮
- ・試合は原則互い審で行う。→試合後すぐに帰宅できるようにするための配慮
- ・15 点マッチ 2 セット先取延長ゲーム無しで行う。→試合時間の短縮
- ・会場内における具体的な感染拡大防止内容  
→横浜版バドミントンガイドライン version2 に基づき対策を行う
- ・横浜版バドミントンガイドライン version2 の順守・徹底のための方法  
→今大会におけるガイドライン徹底のためのコロナ対応チームの結成

担当  
横浜市立鶴見中学校  
若林賢  
TEL045-501-2397

## 8. 競技・審判上の注意及び確認事項 (横浜市中学校バドミントン競技ルールブック)

### 1. 運営規程・競技規則について

(公財)日本バドミントン協会競技規則書・同大会運営規程・同公認審判員規程を原則とする。大会前には必ず上記規則書や「横浜市中学校バドミントン競技ルールブック」も熟読をしてください。

### 2. 大会使用シャトルについて

横浜市中学校体育連盟が主催(共催大会を含む)する大会においては、(公財)日本バドミントン協会第2種検定合格球以上を使用する。なお、4月～9月までの大会では3番を使用し、10月から3月までの大会では4番を使用する。

※ただし、空調がない会場で8月に大会を行う場合は2番を使用する場合がある。

※異常気象等で気温とスピード番号が不適合であると専門部が判断した場合には異なる番手を使用する場合がある。

### 3. 事故タイムについて

試合中に事故(鼻血、捻挫、マメがつぶれたなどの外傷的なものに限る)が起きた時には、競技役員または、競技審判長の判断で、その試合中一度だけ10分以内の治療を行うことができる。ただし、治療はコートを離れずに行うこととする。(横浜市中学校体育連盟バドミントン専門部規程)

### 4. 棄権について

(1) 次の場合は棄権とみなす。

- ①何の連絡もなく選手が定刻に集合しなかったとき。
- ②けがなどで試合続行が不可能なとき。
- ③主審及び競技役員長・競技審判長の判定に服さないとき。

(2) 中学生らしくなく、運動に適さない身なり、服装をしているものについては、競技役員長、競技審判長の判断により、棄権とすることがある。(必ず上衣は下衣の中に入れること)

### 5. 選手の服装について

(1) 選手の服装は公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第4章【競技者及び試合】第23条に基づいたものとし、Tシャツや体操着での参加はできないものとする。  
(プレーヤーは、相手または観客に不快な感じを与えないように、競技中、運動用ウェア、シューズを着用する。着衣の色またはその組み合わせはどのようなものでもよいが、色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために本会の審査合格品とする。…公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第4章より抜粋)

(2) 上記に合わせて「関東記念Tシャツ」は、試合に出場できる服装として認める。ただし、背文字をつけなければならない。(ゼッケンは4カ所固定)

(3) 上衣の裾は下衣の中に入れて競技を行うこと。防汗や整髪のために、ハチマキの使用は認めるが、体裁よく結ぶこと。

(4) 上衣の背面中央部には、必ず学校名と市町村名のマークを付けること。例のように、校名及び市町村名を日本文字(ローマ字不可)楷書で明記する。なお、上衣背面に直接プリントする場合は、校名及び市町村名がわかる色で区別できること。また、ゼッケン使用の場合は角の四カ所を固定すること。※なお、一文字の大きさは縦6cm以上とし、見やすくすること。

例

鶴 見 中  
横 浜

## 6. 試合前の練習について

- (1) 練習時間は、個人戦の場合初回戦は3分間、2回戦以降は2分間で行う
- (2) ダブルスはパートナー同士で練習を行う。  
シングルスのみヒッティングパートナーと一緒に練習を行ってもよい。
- (3) 団体戦の練習は初回戦5分間、2回戦以降は3分間で行う。3分ずつ行う。
- (4) 団体戦の練習はトーナメントにおいて左もしくは上に記載されている学校から先に行う。

## 7. プレー中のマナーについて

- (1) 汗ふきや靴ひもの締め直し、ラケットの交換などは、必ず主審の許可を得てから行うこと。
- (2) 交換用のラケット・タオルなど必要な荷物は初めから主審の横のカゴに置いておくこと。
- (3) 試合中の自然発生的な発声及び、パートナー間の意思疎通のための発声以外の過度の威圧及び審判・相手選手のジャッジ等を惑わす発声は禁止する。
- (4) 相手に対して威嚇と思われる行為に対しては、1回目警告(場合によってはレット)・2回目以降フォルトとする。(やじ・威嚇・ネットをたたく・ネットをさげる・ラケットをつきつけるなどの行為なども含む) また、警告を受けた選手のパートナー、試合相手も同様である。
- (5) シャトルの渡し方、ネットの取り合いなど、マナー面で留意する。
- (6) ゲーム中のインターバル(いずれかのサイドが11点に達したとき)は60秒以内で、選手はコートサイドを離れてはならない。ゲーム間のインターバルは120秒以内で、コートを離れることが出来る。(神奈川県中学校体育連盟バドミントン専門部規定より)
- (7) プレーヤーが、プレーを故意に遅らせたり、中断したりしないようにする。コート内を不必要に歩き回ったり、パートナーとの意思疎通をしたりすることは許されない。  
(汗拭き・給水・モップ等は、主審が必要であると判断した場合は素早く行う。)

## 8. 監督・コーチについて

- (1) コーチングはインプレー以外のときは着席して行い、コートのそばに立ってはいけない。監督・コーチがプレーヤーの注意をそらしたり、プレーヤーを混乱させたりしてはならない。  
(選手は監督・コーチ席の方を向いたり、返事をしたりしてはいけない。)
- (2) 監督・コーチは不品行な態度を取ってはいけない。  
(試合中に怒鳴り相手チームを威嚇する、インターバルでもないのに試合進行を妨げるアドバイスをする等)  
著しく相手チームに不利であると大会運営本部が判断した場合、1回目警告(場合によってはレット)・2回目以降フォルトとする、また、改善が見られない場合は、大会運営本部の判断で会場外へ退場させる場合もある。
- (3) IDカード(許可証)をつけていないものは、ベンチに入れない。  
(同時に、2面以上で試合が行われている場合も同様である。男子の許可証で女子の試合に入るなどないように注意してください。)
- (4) ベンチの移動は、インプレー中に行わないこと。
- (5) 監督・コーチはマッチ(試合)にふさわしい服装で臨むこと。  
ユニフォーム・シャツ(襟付き)・ポロシャツ・ブラウス、長ズボン・スカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止。  
なお、その適否判断は競技役員長・競技審判長に委ねることとする。  
※夏場の空調の無い体育館においては、長ズボンを着用しなくてもよい。
- (6) 外部コーチは、顧問とともにベンチ入りし、コーチングを行うことができる。  
(但し、同校選手の試合が複数同時に行われている場合は別とする)
- (7) 監督、マネージャー、部活動指導員または外部コーチは、横浜市の中学校生徒を基盤とした学校教育活動下での大会であることを認識し、その歴史的な意義や品位を保つために、服装等を整えるとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力すること。なお、試合時には、大会本部から発行されたIDカード(許可証)を必ず着用すること。

## 9. 応援について

- (1) 応援については、~~声と~~拍手を中心として、鳴り物等は使用してはならない。やじ・威嚇などは厳に慎むこと。
- (2) 審判のジャッジやコールが聞こえなくなるような応援をしてはならない。
- (3) インプレー中は行わないこと。サーブに合わせての掛け声などはかけてはいけない。
- (4) 相手を貶めるような応援をしてはいけない。(サーブミスに対して「ナイスサーブ」など)

## 10. 審判について

- (1) 市大会本戦における審判は原則公認審判員、各学校顧問もしくは同等の権限を有するものまたは、横浜市中学校体育連盟バドミントン専門部が認めたものを行う。
- (2) サービスジャッジは得点板生徒が兼ねて行う。但し、得点板生徒が行うジャッジは【トゥ・ハイのみ】とし、フォルトがあった場合はどちらかの手をあげながら【フォルト】とコールする。なお、トゥ・ハイのジャッジは主審も行うことができることとする。(横浜市中学校体育連盟バドミントン専門部規程)
- (3) 審判割り当ては大会ごとに行い、原則時間での割り振りで行う。

### 11. 試合進行

- (1) 試合進行は原則流し込みの形で行う。

### 12. 熱中症対策

横浜市中学校体育連盟バドミントン専門部が運営する大会及び、その予選会において、【横浜市立学校熱中症ガイドライン】に基づいて下記の対策を行う。

- (1) 試合時間の短縮
  - ・WBGT計において31℃以上になった場合15点3ゲームマッチ、延長ゲーム無しで試合を行う。また、その際は8点で1、2ゲームではインターバル、ファイナルゲームではコートチェンジを行う。
- (2) 熱中症を防ぐための対策
  - ・審判は必要に応じて積極的に給水タイムを取る。(目安としてインターバルから10分程度)
  - ・WBGT計において31℃以上になることが予測される場合の対策。暗幕のみをしめて窓は開けた状態で試合を行うなど、試合に大きな支障が出ない範囲で換気を行いながら試合を行う。
  - ・会場責任者、運営責任者は30分に1回程度水分補給を促すアナウンスを行う。

### 13. その他

- (1) 撮影について
  - ・フロアから、撮影をしてはいけない。
  - ・応援席からの撮影は構わないが、フラッシュ等はプレーの妨げとなるので使わないこと。
  - ・撮影は、自校の関係者(保護者、顧問、生徒)が、自校の選手をとる場合のみとする。(撮影した記録については、肖像権の侵害とならないよう取り扱いに十分注意する)
  - ・撮影した写真、動画をSNS等のインターネット上に掲載することは禁止する。
- (2) 会場への菓子類、カン、ビン類の持参を禁止する。  
※保護者に関しても、ガム等を食べながら会場に入ることを禁止する。
- (3) 落とし物は大会終了後、1カ月を目安とし保存し、それ以降は処分する。
- (4) 会場校もしくは、市専門部役員からの特別なアナウンスが無い場合は、顧問、保護者の大会会場への車での来場は禁止する。また、顧問もしくは同等の権限を学校長から認められたものが必ず会場まで生徒を引率する。
- (5) 会場校となった学校は、どのような大会が行われているか掲示を行い、校内で行われている大会の内容が明確になるように努める。

以上を原則とし、感染症拡大防止の為に、横浜版バドミントンガイドライン version2 に沿って大会を進める。

令和2年度 横浜市中学校バドミントン秋季団体戦 タイムテーブル

10月11日(日) 横浜武道館 男子団体戦・女子団体戦

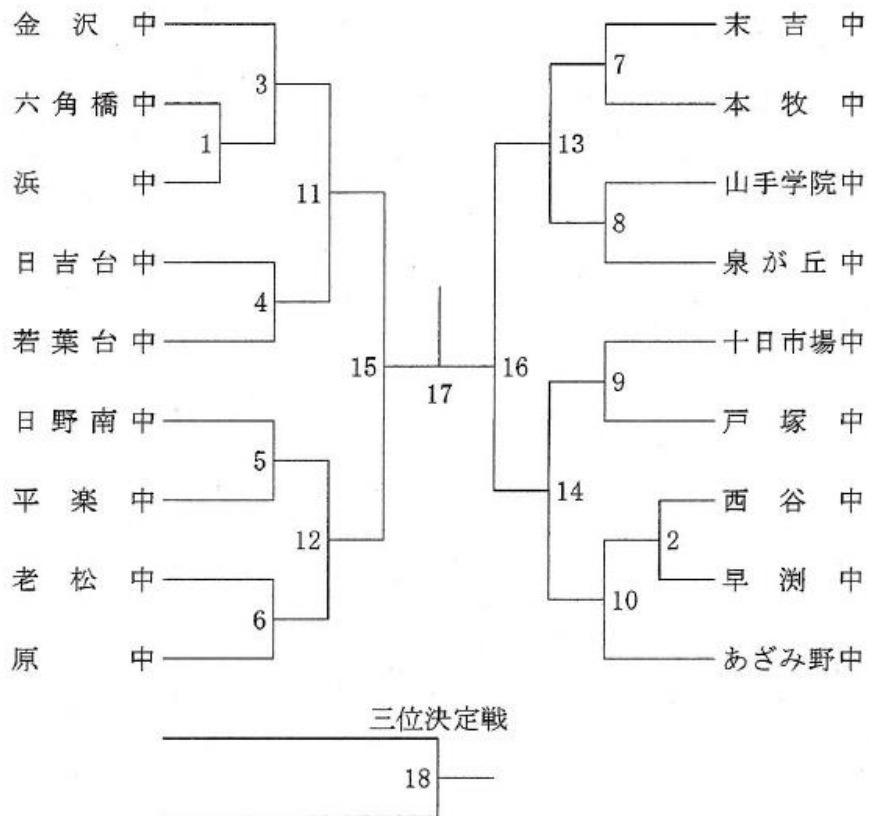
9:30	保土ヶ谷・泉・瀬谷・旭・港北・緑・青葉・都筑区 入館 ※この時間より前に到着しないようお願いします。													
9:45	鶴見・神奈川・西・中・南・港南・磯子・金沢・戸塚・栄区 入館 ※この時間より前に到着しないようお願いします。													
10:00	受付終了(10:00)													
10:10	顧問打合せ(10:10)													
10:20	全体諸注意・その他(10:20)													
	3コート	4コート	5コート	6コート	7コート	8コート	9コート	10コート	11コート	12コート	13コート	14コート		
10:30	BT1	BT2	BT4	BT5	BT6	BT7	GT1	GT2	GT4	GT5	GT6	GT7		
11:15	BT8	BT3	BT9	BT10			GT8	GT3	GT9	GT10				
12:00	BT11		BT12	BT13		BT14	GT11		GT12	GT13		GT14		
12:45	BT15	BT15	BT15	BT16	BT16	BT16	GT15	GT15	GT15	GT16	GT16	GT16	GT16	
13:30	BT17	BT17	BT17	BT18	BT18	BT18	GT17	GT17	GT17	GT18	GT18	GT18	GT18	
14:30	結果発表・表彰式(14:30)													
審判・その他	<p>・審判は、対戦校より2名ずつ出し合って行うようにしてください。(主審1名・線審1名、得点(サービスマッチ兼ねる)1名・線審1名)</p> <p>・第1ダブルス・シングルスが終わって2対0の場合は、第2ダブルスは行いません。</p> <p>・試合は、男子団体、女子団体それぞれ流し込みで入れていきます。</p> <p>・準決勝以降の試合は開いて行います。(試合進行の状況によっては、準々決勝より開いて行う場合もあります。)</p> <p>また、準決勝以降は試合前の練習も、2コートを使用し、同時に行います。</p> <p>・試合前の練習時間は、トーナメント表の上の学校から3分ずつ行います。</p> <p>・会場内の席は、各校全て指定席になっていきます。</p> <p>・会場前に待つスペースもないことから、上記の時間より前に会場に到着しないようご協力よろしく申し上げます。</p>													







男子団体



女子団体

